



THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI

CHARTERED 2006



茨城ワイズメンズクラブ

2015年度~2016年度

7月報 Vor. 83

強調月間テーマ

キックオフ

YMCA サービス・ASF・RBM

国際会長主題 : 信念のあるミッション
 アジア地域会長主題: 愛をもって奉仕しよう
 東日本区理事主題 : 原点に立って、未来へステップ
 関東東部部長主題 : チェンジ
 茨城ワイズ会長主題: 「ワイズメンとしての自覚と責任を持って」

7月例会プログラム

と き: 2015年7月4日(土) PM 13:00~15:00

と ころ: YMCA 会館

開会挨拶と点鐘

ワイズソング

ワイズ信条

- 1 自分を愛するように 隣人(りんじん)を愛そう
- 1 青少年のために YMCAに尽くそう
- 1 世界的視野をもって国際親善をはかろう
- 1 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさとうろ
- 1 会合には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう。

今月の聖句と食前の感謝・食事

井上 恒久

ゲスト

題目「社会福祉協議会の取り組む事業や地域福祉について」

つくば市社会福祉協議会 事業推進室長

飯島 寛宣

ハッピーバースデー&おめでとう結婚記念日

スマイル

ドライバー 稲本 修一

茨城YMCA報告

和田 賢一

閉会挨拶と点鐘

会長 片山 啓

例会後

報告と協議

- ① 今期の方針について (編集後記参照)
- ② まつりつくばお店について
- ③ 8月例会の日程、司会者、食前感謝、ドライバー、ゲスト、巻頭言等の担当者の確認

2014-15年度 会計報告 会計: 井上恒久

5月末繰越金	28,990
6月収入	
会費	16,000
スマイル	4,000
食事代	9,000
6月支出	
講師謝礼	-5,500
東日本区大会出席	-26,000
TOF,RBM,YES 募金	14,000
入会金	-12,260

7月(次期)繰越金

5,730

今月の聖句

「人の生涯は草のよう。野の花のように咲く。風がその上に吹けば、消えうせ生えていた所を知る者もなくなる。」

(詩篇 103章 15節~16節)

「新しい人生の始まり」

松田 朝子(さらん)

こんにちはさらんと申します。今年3月に晴れて大学を卒業し、新社会人になり茨城 YMCA でスタッフとして働かせていただいております。社会人になって3ヶ月経った今ですが、毎日新しい発見があり、とても楽しいです。もちろん、日々子ども達と関わっている中で悩みが尽きません。そんな時、先輩方に相談して解決し学んでいきます。中学生の時の職業体験を機に、将来は子どもと関わる仕事がしたいと思いながら勉強をしてきました。今、スタッフとして働けていることをとても幸せに感じますし、これから子ども達に寄り添い、共に成長していきたいと思っています。

最後に名前の由来についてですが、“さらん”とは韓国語で愛という意味です。

子ども達や YMCA を愛し、たくさんの人から愛されたいという願いを込め、この名前にしました。たくさんの方の応援をよろしくお願い致します。



2015年2月キャンプより(スタッフになる前にボランティアリーダーとしてキャンプに参加)

出席者	会員 11名	メネット 0名
6月	スタッフ 0名	(リーダー 0名)
	ゲスト 0名	出席総数 11名
例会	在籍者会員数 15名	会員出席率 73%



村田淳さんの入会式

【茨城ワイズ 6月例会報告】

【茨城 YMCA 活動予定とお知らせ】 担当主事 和田賢一

1. ゲストスピーチ

題目「これからの茨城 YMCA について」

茨城YMCA総主事 宮田康男

- ・この10年間に多くの方々との出会いがあり、お礼も含めてこれまでの10年とらからのYMCAについて話しをしたい。
- ・新しい建物が与えられて不安がないと言う事ではないが、借金の支払いのある中で、以下のプログラムを充実させたい。

①子育て支援

○幼児教育

- ・児童クラブは、当初はYMCAで遊ばせることが主であり、3名から始まり、現在は100名を超えている。この中でも、障害児を引き受けている。
- ・統合教育として、健常児と障害児が共にプログラムを進めることに着目している。お大人になった時の理解のために。
- ・人気はあるが、社会のニーズ（動く両親に向けて）考えていきたい

○片親家庭

- ・国内で片親家庭が増えてきており、夕方7時まで希望する人が増え、子供の名前が変わることが多い。今後、このような弱い立場の方々へのホローも必要だと考えている。

②青少年健全育成

- ・今後もキャンププログラムの充実を考えていきたい。

③障害者の自立支援

○タンポポ

- ・タンポポクラブ(障害児のサポート)から始まり20名となった。
- ・課題は、親の高齢化があり、デーサービスやグループホームの活動も要求されている。親に対する安心感を与えることが課題にある。

④その他

○高齢者対応

- ・1人暮らしの世帯が都心部を含めて増加している。子供達を頼ってきたものの、屋間は一人の人が多い。見えないところに多く居られる。
- ・Yで高齢者向けのプログラムが求められてきている。

○海外帰国者・海外に出て行く方

- ・日本語の補修が必要な子供がいる。日本語補修があればボランティアを希望される方もいる。

⑤今後

- ・社会の変化にYがどのように対応できるかが課題だ。
- ・苦勞している子供や人達に対して、Yの経験を生かして新たな活動による発展ができればと希望している。
- ・良いスタッフが与えられ、県南での企業や行政や社会からの認知度が上がっており、どのような展開ができれば良いのか考えている。
- ・将来的には県北の方にも目を向けて生きたい。

*質疑応答より

○YMCAにしかできにことは多くないのでは。手を広げ過ぎないことが良いのでは。

- 各種キャンプでは、障害児と統合教育をする中で、人では必要であるが、他の幼稚園では、断ることが多いが、YMCAでは断れない。困る親子さんがいる。YMCAでやる必要があると考えている。健常児が減るという心配もあるが、そのような事はない。

○教会との関係は

- YMCAは宗教団体ではなく、一般の市民に目を向けたキリスト教理念による市民団体。YMCAの理念を知る事で、教会につながり、教会からの理解者によるサポートもある。



例会の様子

2. 協議の概要

(1)ブルーベリーの販売について

- ・チラシの修正点を協議。試食も行なう。
- ・8月中旬までの期限を確認。
- ・今年は案内が遅れたので、ワイズへの周知を図り、来年からは、本格的に活動か。

(2)事務会について

- ・新年度の役員と予定を確認する。

(3)7月の例会担当の確認

◆6月の報告

- 1日 早天祈禱会 大賀・宮田
- 2日～3日 幼保園参観日
- 6日 小学生定例野外活動 わいっこクラブ 田島
- 7日 中高生活動 ユースクラブ 久米
- 12日 幼保園消防署見学
- 13日 障がい児者自立支援 たんぽぽクラブ 久米
- 14日 アドベンチャーキャンプ下見 池長
- 15日 職員礼拝・職員会
- 16日～19日 全国総主事会議 宮田
- 19日 二葉幼稚園親子体操 和田
- 19日～21日 野尻リーダートレーニング 久米・和田
- 20日～21日 日本YMCA評議委員会 宮田
- 20日 東新井児童クラブ総会 池長・木村・倉田
- 20日～21日 児童クラブ高学年お泊り会 池長・木村・倉田
- 23日～25日 幼保園個人面談
- 27日野尻キャンプ久米・和田 アドベンチャーキャンプ池長
- 28日 高学年野外活動 トムソーヤ 池長

◆7月の予定

- 4日 障がい児者自立支援 たんぽぽクラブ 久米
チャリティーラン実行委員会
- 5日 小学生定例野外活動 つくんこクラブ 池長・田島
- 6日 早天祈禱会 大賀・宮田
- 10日 幼保園お芋堀・ブルーベリー摘み 大賀
- 11日 ピアノ発表会&チャリティーコンサート 木村
- 12日 4・5歳児定例野外活動 わんぱくクラブ 斎藤
- 13日～8月10日 台湾リーダー1名サマープログラム参加
- 17日 幼保園1学期終了
- 18日～19日 幼保園年長クラスお泊り会
- 18日～22日 野尻湖キャンプ 久米・和田
- 23日・31日 ふれあいサロン 講師派遣
- 21日～8月31日 児童クラブサマースクール
- 24日～25日 牛久教会CSキャンプ 講師派 遣大澤・久米
- 28日～30日 アドベンチャーキャンプ 池長
- 30日～31日 二葉幼稚園 白組キャンプ 講師派遣 田島

○YMCA よりお願い

YMCA 維持会員：ワイズの目的の中に『YMCAの活動を支援する』となっております。その1つとして YMCA 維持会員になっていただいております。まだ維持会員登録をされていない方は、和田までお申し出ください。維持会員とは、YMCAは会員団体であり、YMCAは会員に支えられ地域に根ざした活動を展開しております。YMCAの使命に賛同し、その運動に主体的に参与し、YMCAの維持発展に寄与することを願う会員です。

○新館オープン

7月より新本館オープンとなります。現在は1階を事務所と児童クラブ保育スペースとしての活用、3階にピアノクラス・英語クラスの習い事に使用を開始しております。

また、新本館オープンにあたり別館1階にて1・2歳児保育クラスも開始いたしました。

【編集後記】

新年度を向え、新年度の主題を「ワイズメンとしての自覚と責任を持って」とさせて頂きました。茨城クラブも、来年の3月に10周年を向えますが、未だクラブ・個人として、ワイズの活動や組織を十分に理解できていないと感じています。

理由は、私を含めてワイズの運営や活動の多くを、これまでYMCAのスタッフの方々にも多くをお任せし過ぎていたことが挙げられます。このため、残念ながら私たちのクラブに対し、厳しいご意見をお持ちの方が多くおられることも事実です。

このような状況の中で、次期の関東部の部長職を受けさせて頂く事となりました。この準備期間として、既に活動を開始しておりますが、次期は部長だけではなく私たちのクラブから数名の役員を輩出する必要があります。これは、避けられません。

従いまして今期は是非、次期の大役を覚えて主題を心に留めて頂き、クラブに対し、また関東東部や東日本区の各種行事に対しても、私や役員だけではなく皆様にも積極的に係わって頂きたいと切に願っております。よろしくお祈りします(片山啓)